

「関西ブロック安全大会2017」開催

「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」ヨシ！ —NTTグループと通信建設会社による合同開催—

(一社)情報通信エンジニアリング協会 関西支部



はじめに

「関西ブロック安全大会2017」が12月14日、NTT西日本研修センター(大阪市都島区)において、関西エリアのNTTグループ5社、通信建設会社5社、ITEA関西支部の合計11社により合同開催されました。

開催の目的は、職場における労働災害防止施策の一環として、NTTグループと通信建設会社で発生した重大事故をリアルに再現し、事故の恐ろしさ・悲惨さを再認識・啓発するとともに、実際に疑似体験することによって事故の再発防止を図ることです。

岸本NTT西日本関西事業本部長様と高島ITEA関西支部長の開会挨拶の後、スタッフ2名による安全宣言を行い、開会しました。



作業中事故の再現

NTTグループ・通信建設会社で発生した重大事故を具体的に再現し、事故の恐ろしさ・悲惨さを疑似体験するため、電柱からの転落事故や開通工事における転落事故の再現演習を行いました。



危険体感研修

引込線張力反動衝撃体感、根入不足柱昇降時の共倒体感、昇柱作業・脚立からの転落衝撃体感、バックホウ死角体感、高所作業車逸走危険体感等、最近発生した事故事例を模擬体験し、危険を実際に体感する演習を行いました。



交通安全・労働衛生の講演・講習

佐藤 浩氏による『事故を起こさないための集中力の高め方』をテーマとした講演が行われました。

また、ストップ危険運転～からだチェックで健康改善、バーチャルリアリティ危険体感、スマートアシスト搭載車試乗、等の体験・講習を行いました。



展示

「道路上工事現場の車両飛込まれ防止対策」や「安全作業用ツール」、「橋梁添架設備調査用ツール」等の展示・紹介を行いました。



おわりに

NTT様と合同開催した本大会では、転落事故等の再現・体感を通して、事故の恐ろしさを認識することにより、「人身事故」、「設備事故」、「交通事故」を防止し、NTT様はもとより、お客様に対して「きっちり工事」がお届けできる通信建設業界を目指すことを誓い合う絶好の機会となりました。

最後に、奥野NTTネオメイト関西支店長様の閉会挨拶の後、全員で安全スローガンの唱和を行い閉会しました。

